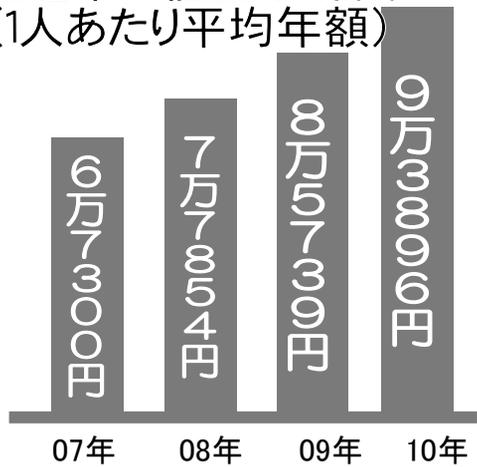


3年間で4割もの値上げにびっくり

上越市が国保税の値上げ計画公表

上越市の値上げ計画
(1人あたり平均年額)



「これでは暮していけない」と悲鳴があがっています。

国保税値上げ中止求める署名

第一次分、4900筆提出

「上越市の国保をよくする会」(関口壮六代表)が結成され、「一般会計からの特別繰り入れで値上げの中止を」との署名運動が本格化したのは先月下旬のことです。それからわずか2週間ほどで約4千900筆の署名が集まりました。

吉川区内では有権者数の約2割の人たちが署名を寄せています。

8日、「国保をよくする会」はこの署名を持って市側に改めて値上げ中止を求めると申し入れました。

(写真左上)。この申し入れには、関口代表のほか、新婦人、年金者組合、民主商工会などの代表、そして日本共産党市議団から杉本団長と私に参加しました。また、日本共産党上越地区委員会会の平良木哲也「子育て・暮らし」相談室長も参加しました。

参加者からは、「寄せられた署名の中には一枚の署名用紙に2人だけのものがたくさんある。お年寄り夫婦と思われるが、年金暮らしの人たちにとっては国保税値上げは重い。やめてほしい」「灯油やガソリンを購入するにあたって、満タンでなくいくらかまでと節約する人が増えてきている。社会保障の立場で一般会計からの繰り入れをぜひお願いしたい」などの要請が続きました。

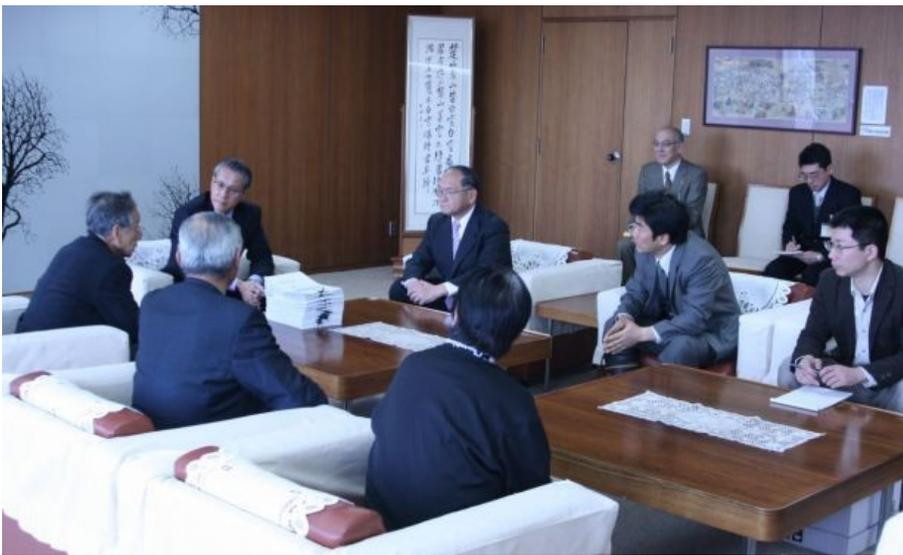
応対した村山秀幸副市長は、国保加入者の負担増を理解してほしいとのべる一方で、激変緩和措置として一定の一般会計からの繰り入れで負担軽減に努めたい」と回答しました。

署名運動に引き続き「協力を

「国保をよくする会」ではこの間、医師会や薬剤師会、労働団体などに国保署名運動への協力を要請しています。これらのなかには前向きに検討したいとされているところも出てきており、運動は広がっていくことでしょう。署名は今回が第一次分で、第二次、第三次と、一定の数になり次第、市に提出していく方針です。ご協力よろしく願います。

上越市は8日、国民健康保険運営協議会に、国保税の税率改正(案)の諮問を行い、同日、原案承認という答申を受けました。市が示した税率改正(案)は、段階的な値上げでした。08年度の国保税を15・7%値上げし、1人あたり年額7万7854円とする。09年度はさらに10・1%上げて年額8万5739円とする。10年度は09年度に再度見直す(調定見込みとしては、9・5%上げて年額9万3896円)。注目の一般会計からの特別繰り入れについては、上越市として初めて繰り入れることになりました。その額は2か年間で10億5000万円です。また、応能割合と応益割合の比率は、52・75対47・25で低所得者層への負担軽減措置がとられました。

今回の税率改正(案)は、一般会計からの特別繰り入れや低所得者の負担軽減にむけた努力などがされておき、これらの点は評価できるものです。しかし、3カ年で2万6596円(07年度比39・5%増)という値上げは、いまだに支払いの限度を超えているなかで、あまりにも重いものです。自営業者などからは、



【ノボロギク】一年中咲いている花です。雪に覆われても負けずに花を咲かせています。2月10日、大乘寺にて撮影。

春よ来い 第九三回 プレゼント

二月一四日はバレンタインデー、父の八一歳の誕生日でした。昨年の暮れに緊急入院し、ひよっとすれば命が途絶えてしまうかも知れないという事態に陥ったこともあって、今年の場合は、父が誕生日を迎えたことを特別うれしく感じました。

父は、昨年の二月に満八〇歳になってから、「おれ、八〇になった」という言葉を繰り返し使うようになりました。この言葉を言えば、「そうかね、えらいね」とか、「たいしたもんだ」などとほめられることを頭にしっかりと記憶していて、繰り返し使ったのだと思います。父はほめられる度にうれしそうに笑いました。

今年はずっと入院生活です。入院後、会話ができなくなっています。誕生日まであと一週間ほどになって、妻が、「じいちゃんの誕生日、今年は何かプレゼントしてあげようよ」と言いました。認知症もかなり進んでいるので、正直言って、贈ってもわからないのではないかと思います。その時は、それ以上、話は進みませんでした。

誕生日当日、ある人からチョコプレートももらい、妻の言葉を思い出しました。そうだ、きょうはじいちゃんの誕生日だ。何かプレゼントしなきゃ。そう考え、とりあえず、病院へ足を運びました。

父は前日、大部屋から六階の個室に移ったばかりです。病室で初めて会った看護師さんに、「きょうは父の誕生日なんですよ」と言うと、「あら、そうなんですか」とにっこりし、「橋爪さん、よかったですね」と父に声をかけてくださいました。私も父のそばに行き、「じいちゃん、おまん、八一になったがだよ。良かったね。今度は八二になろうね」と言いました。ところが、父はこっくりしたものの、何を思ったか、「おれ、役に立たんのか」と言うのです。ハッキリと聞き取れる言葉で父から思いがけない質問を受けたので一瞬とまどったのですが、「心配いらんよ。じいちゃんは十分、家のために役に立っているよ」と答えることができました。

父との思いがけないやり取りがあったあと、まもなくして、携帯電話がブルブルと震え、埼玉に住む従妹から「誕生日おめでとう」というメールが届きました。どうして父の誕生日を知ったのかわかりませんが、従妹からのうれしいメールでした。これがヒントになり、父へのプレゼントを考えつきました。

父が入院中の病院では携帯電話を使用できません。よし、きょうは、じいちゃんに声のプレゼントだ。そう決断してから、まず母のところへ電話を入れました。父の左耳に受話器をつけると、母の元気な声が聞こえてきました。「じいちゃん、早く良くなって家に帰ってきかないや」という呼びかけに「おう」という小さな返事が出ました。次は、愛知県に住んでいる弟です。「とちや、元気かね、頑張るんだよ」。いつも父が心配していた弟の声を聞き、「うん」とか「ああん」とかやっています。最後は大瀨区に住む弟、前日も見舞いに来たばかりといいますが、弟の元気づけの言葉に父はうなづいていました。

さて、父にプレゼントをと提案した妻ですが、勤務を終えた夕方、一枚の紙を持って病室に入ってきました。大きなひらがなで「あいうえお」が書いてある一覧表です。「おじいちゃん、今度、何か言いたいことがあったら、この紙の字を指差してね」と声をかけていました。これで父との会話ができるようになれば、と考えたのでしょう。思い通りにうまくいくってくれればいいのですが、なかなか難しそうです。この日、父が入院してから初めて、父の「ありがと」という言葉を聞きました。

介護保険制度の認定状況等（区別）

平成20年1月31日現在

人口	高齢者人口 (65歳以上)	高齢化率	認定者数	認定者数			
				1号被保険者 (65歳以上)	2号被保険者 (40歳~64歳)		
全市	209,479人	51,843人	24.75%	10,081人	9,748人	18.80%	333人
合併前 上越市	135,173人	30,507人	22.57%	5,959人	5,742人	18.82%	217人
安塚区	3,306人	1,227人	37.11%	229人	224人	18.26%	5人
浦川原区	4,102人	1,235人	30.11%	220人	219人	17.73%	1人
大島区	2,185人	911人	41.69%	220人	212人	23.27%	8人
牧区	2,555人	1,041人	40.74%	238人	233人	22.38%	5人
柿崎区	11,380人	3,328人	29.24%	664人	651人	19.56%	13人
大瀨区	10,325人	2,545人	24.65%	507人	485人	19.06%	22人
頸城区	9,959人	2,131人	21.40%	384人	373人	17.50%	11人
吉川区	5,235人	1,634人	31.21%	334人	323人	19.77%	11人
中郷区	4,703人	1,369人	29.11%	252人	243人	17.75%	9人
板倉区	7,808人	2,253人	28.86%	379人	370人	16.42%	9人
清里区	3,226人	925人	28.67%	210人	202人	21.84%	8人
三和区	6,396人	1,686人	26.36%	349人	337人	19.99%	12人
名立区	3,126人	1,051人	33.62%	136人	134人	12.75%	2人

国体の競技日程、ほぼ決まり

尾神岳のパラ・ハングライダーは10月3、4日 予定

総務常任委員会が2月13日開かれ、「トキめき国体」の上越市開催準備状況が報告されました。同国体は、冬季大会が来年の2月17日から4日間、本大会は9月26日から11日間行われます。

このなかで、吉川区で開催されるパラ・ハングライダーについても競技日程などが報告されました。それによると、競技は10月3日（土）、4日（日）の予定。競技に参加する選手などの数は140人にのぼります。また、この競技に配置される役員、補助員などは65人といえます。この競技の運営費は188万円を予定しています。

最新の介護保険認定状況

先月末現在の各区別のデータが入りましたのでお知らせします。紙面の都合で数字が小さくなっていますが、お許しください。

吉川区は人口が5,235人。65歳移住の人口は1,634人で、高齢化率は31.21%。認定者数は334人で、このうち65歳以上の1号被保険者は323人、40歳から64歳までの2号被保険者は11人となっています。